蔵本外国語研究会 [FLS]

多彩なテ 語学を学ぶ

部員数が93名という大所帯。 guage Society)は、現在の登録 蔵本F ചശ(Foreign Lan-

それ以外の語学や様々な興味ある 案したものを積極的に取り入れて ディスカッションや洋画を見ての プラ)と呼ぶ部活では、グループ・ 工夫してみ せんが、勉強の場として、みんなで 「特に講師が を聞くのも勉強になるでしょう。 は海外経験者もおり、その体験談 多彩に展開できます。また部員に テーマごとに小グループを作って います。主に英語が使われますが、 リスニング、寸劇など、部員自ら提 プラクティス(Practice、略して んなで楽しく学べま いるわけではありま

> さい」と言う部長の福田さん。 ションの場としても活用してくだ 事に挑戦できるし、コミュニケー 身につけるだけでなく、いろんな 幅広く部員がいるために、語学を す。また各部各学科から院生まで

曜の夕方には栄養英語の会といっ たプラを行っています。 ンチ、英検を目指しての勉強会、水 には希望者が集って、英会話でラ 時)をメインに、火・金の昼休み 年間を通しては、春の歓迎コン 部活は木曜日(午後5時30分~

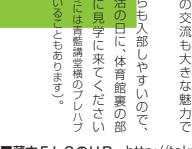
開催しています。 等々、いろんなイベントを楽しく 七夕・ハロウィン・クリスマス パから始まって、年末の追いコン・

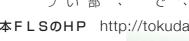
学から多くのチ student Association)に所属 英語サークルが集うWJEMA ムが参加して大会 し、夏には所属する大 (West Japan ESS Medical 蔵本F. LSは、西日本の医学系

~~ こではスピーチ、ディ が開催されます。こ 10位に入賞しました。 ピーチでは、初出場の部員が見事 加して、全部門に挑戦しました。ス 年は初めてディベー 門で大学対抗戦があり、今 ト、BMCの3部 ト部門にも参

何回かの交流会や勉強会もあり、 他大学との交流も大きな魅力で マンディベートがあるほか、年に 秋にもWJEMAのフレッシュ

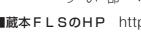
■蔵本FLSのHP http://tokudaifls2.web.fc2.com





まずは部

途中からも



(真夏や真 室に気軽

に避難して

いるこ













蔵本外国語研究会(FLS) 代表 福田 亜希子 ふくた あきこ

ヘルスケア

前田 健一 まえだけんいち

●徳島大学での感染状況

●感染流行への対応

徳島大学保健管理センタ

うにしましょう。 で済むよう体調管理を怠らないよ ますので、たとえ感染しても軽症 月、11月)くらいが勝負だと思われ

合には早期に治療した方が安全で いますが、高い熱が出たような場る必要はないとの指針を発表して

保健管理センターの利用案内

と覚悟しておいたほうが良いかも

しれません。これから2ヶ月(10

は健常者に抗ウイルス薬を投与す 軽減が期待されます。WHOで 間以内に投与することで、症状の

TEL

なるまでおさまらないと考えら 集団の免疫獲得割合が50%程度に を厳守してください。感染拡大は

どの抗ウイルス薬を発症より48時

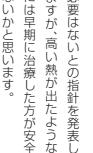
した場合はタミフルやリレンザな チンのみとなる見込みです。感染 応は季節性のインフルエンザワク ンの接種を予定していますが、対 ンターではインフルエンザワクチ れるようです。今年も保健管理セ すい疾患を持った人たちに限定さ 療従事者や糖尿病など重症化しや も十分ではなく、接種対象者は医 るとのことです。さらに、その本数 の準備が間に合わず、10月末にな ンフルエンザに関してはワクチン 法は予防接種です。しかし、新型イ

れ、いずれいつかは感染するもの

8:30~17:15 (月~金) 共通教育5号館1階 ●保健管理センター 088-656-7289 ●蔵本保健室 蔵本会館2階

088-633-7591

はないかと思います。





が起こる可能性が高まってきま

まるようになると、再度集団感染

で、職員の感染はあまりありませ す。感染者は学部学生がほとんど

ん。年代による感染感受性の差も

推測されており、特に10代から20

る症状が発生した場合には、絶対 や咳等のインフルエンザを疑わせ 者を早期隔離することです。発熱 感染拡大を防ぐ最大の方法は感染

ません。解熱後48時間の出席停止 に職場や、学校に出席してはいけ

代の学生さんは要注意です。

生は報告されていませんが、10月 発生しました。その後集団的な発 連を中心に50名を超す集団感染が

より後期が始まり多くの学生が集

はや不可能で、いかに感染拡大の 階では感染の拡大を防ぐことはも

スピードを緩やかにするかにかか

っていると言えます。その意味で、

感染者の発生が持続しています。

大学においても7月以降散発的な 新型インフルエンザですが、徳島

現在流行期に入ったといわれる

毒性と考えられ、現在では季節性

今回の新型インフルエンザは弱

8月には阿波踊りに参加した学生

集団免疫が働かず、感染が急速に

インフルエンザ予防の最大の方

んどが免疫を持っていないため、 くなりました。ただし、集団のほと インフルエンザと対応は変わらな

●予防と治療

拡大する可能性があります。現段

12